

旭川龍谷高等学校 令和5年度 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必/選	コース/フィールド
国語	現代の国語	2	1	必	キャリアデザインコース
科目の目標	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的に考える力や他者に共感したり豊かに想像する力を高め、自分の考えを広げ深めることができるようにする。また我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
教科書	現代の国語(東京書籍)	副教材等	適宜使用する。		

1. 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。

言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)，Y(思考・判断・表現)，Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
1自己を見つめる こそめスープ	4	4	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。	○		
ルリボシカミキリの青	4	5	実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	○	○	
2他者に出会う 未来をつくる想像力	4		言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	○	○	
水の東西	4	6	比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	○		

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
グラフや写真の読み取り方	4		「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。進んで複数の文章を読み比べることを理解し、学習課題に沿って異なる種類の文章の書き手の意図を解釈し、自分の考えを深め、発表しようとしている。		○	○
気になるニュースについて話そう	8	7・8	「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。積極的に情報の収集や整理を行い、学習課題に沿って理解しやすい内容構成や展開を工夫して、自分の考えを発表し、論ずる活動をしようとしている。		○	○
4視野を広げる スキマが育む都市の緑と生命のつながり	4	9	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。		○	
無彩色の色	4		進んで筆者の「灰色」に対する価値観や主張を理解し、学習課題に沿って色彩に対する自分の考えを深め、発表しようとしている。			○
5社会と関わる 鍋洗いの日々	4	10	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	○	○	
森で染める人	4		「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。		○	
真夏のひしこ漁	4	11	実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。	○		
憧れの職業について、整理してまとめよう	2]粘り強く自分の興味・関心のある対象について調べ、集めた情報の妥当性を検討しながら、学習の見通しをもって読み手の理解が得られるよう文章の構成や展開を工夫して書こうとしている。			○
6言葉と生活2 新聞記事を読んで意見文を書こう	2		引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。	○	○	
相手に応じた言葉の選び方	2	12	進んで話し合いの題材を考え、学習課題に沿って発想を広げる話し合いをしながら自分の考えを広げ、場に応じた言葉遣いをしようとしている。			○
7世界とつながる 美しさの発見	6	12・1	「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	○	○	
りんごのほっぺ	6	2	粘り強く過去から現在の出来事に至る内容と、作品中の筆者の思いを理解し、学習課題に沿って戦争体験を語り継ぐ意義を考え、話し合おうとしている。	○		○
8未来に目を向ける 不思議な拍手	6	2・3	主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。推論の仕方を理解し使っている。	○		